

研究実施に関する情報公開

琉球大学医学部附属病院産婦人科では、人を対象とする医学系研究倫理審査委員会の承認を得て、下記の研究を実施します。この研究では、患者さんの診療記録（カルテ）に記載された臨床データを研究資料として使用させていただきます。患者さんには臨床データ利用の目的と趣旨をご理解いただきますよう宜しくお願い申し上げます。また、研究対象者となる患者さんは、ご自分の情報が研究に使用されることを拒否することができます。その場合は産科婦人科スタッフ又は、下記問い合わせまでご連絡下さい。研究に参加することに拒否された場合でも、不利益が生じることはございません。ただし、データ解析後のお申し出については、対応できない場合もございます。予めご了承下さい。

研究課題名：65歳以上の高齢子宮頸癌患者における同時化学放射線療法の relative dose intensity および overall treatment time に関する検討

研究期間：倫理審査委員会承認後～2020年12月31日

研究の内容と目的：当科では、局所進行子宮頸がんの標準治療として、同時化学放射線療法を行っており、治療成績も良好で予後の改善が認められています。そこで、当科で、65歳以上の高齢の子宮頸がんの患者さんで、同時化学放射線療法を行った方の、化学療法の容量強度と放射線治療の総治療期間を若年者と比較して、有害事象や予後との関連性を検討することで、今後の治療法選択と患者さんや家族の方への情報提供に役立てます。

研究の対象となる方：2009年1月～2019年5月までに、当院産婦人科で子宮頸がん IB1期～IVA期と診断され、同時化学放射線療法を行った患者さん

研究の方法と研究に用いる情報の種類：

診療記録（カルテ）から、以下の情報を調査・集計させていただきます。

- ①基本情報：年齢(生年月)、合併症、過去の手術歴、喫煙歴、飲酒歴など
- ②疾患情報：診断名、臨床進行期分類、病理組織診断、腫瘍径、リンパ節転移の有無、化学療法開始前ヘモグロビン値、アルブミン値、腫瘍マーカー、再発診断日、再発治療、化学療法の種類・用量・期間と有害事象、放射線治療の種類・線量・期間と有害事象など

個人情報の保護：この調査研究で取り扱う患者さんの情報には、個人が特定できるような情報（お名前、住所、カルテ番号等）は含まれず、第三者にはどなたのものかわからない形で集計します。

また、この研究の最終的な結果は、学術雑誌や学会にて公表されることがありますが、個人を特定できるような情報が使用されることはありません。

問い合わせ：

琉球大学医学部附属病院 産科婦人科医局

〒903-0215 沖縄県中頭郡西原町字上原 207

Tel:098-895-1177 Fax:098-895-1426

【研究責任者】

琉球大学大学院医学研究科 女性・生殖医学講座 教授

青木 陽一